

うえたの人 ～植田～



種田の古川美子さん（69歳）は、約13年前から、ごく近く人が新聞の川柳欄に投稿しているのを見て、「私にもできるかしら？」と思われたところから、川柳を始めようになったそうです。始めたては投稿し、新聞紙上にも掲載されました。今までにも、年間も新聞紙上に掲載されています。川柳を投稿するようになって、何を見ても川柳のテーマを頭に置き、字数を数えているそうです。田舎にまで、ノートと鉛筆を持参するという熱心さです。

また、手先を使うことも好きなことのひとつです。針仕事や、布ぞうり作り、生花、大正琴、ローマ字習得など、多種多様なものに取り組んでおられます。「強調を見て、手筋も楽しんでいます。一つの作品を満足に完成させるには、何度も失敗しますが、失敗して当たり前の失敗は成功のもとです。あきらめずに取り組むことが、納得いくものの完成につながります。完成品ができると、達成感や、満足感にも、浸れるんですよ。」と、笑っておっしゃる古川さん。

水と緑の町に

西植田自然保護組合は、植田小学校4年生（19人）が行う総合学習（生物調査）の協力を5月に植田で、7月には草谷で、今回（10/22）川角の新元橋で三度目の生物調査を行いました。地元の川の生活排水などによる汚れ、生息する生物（生態系）の変化を上流、中流、下流においての調査です。子どもたちは、「上流にいたサワガニやシジミがない、川の水が汚れている。」など率直に感じ取っていました。わずか、3時間でも3回目となると石や藻の下の生物を見つけるのも、探まる姿も慣れたもので、網を振る姿、二人で協力して捕獲する姿など、自然の中で学ぶ子どもたちの成長の早さに感心せられました。

この調査の結果発表は、2月に小学校である予定がそうですが、5月に小学校に水槽を寄附し、玄関に生物とともに展示していただいている。学校へ行く機会がありましたら、どうぞご覧になってください。子どもたちの調査の結果。

また、植田の水の現状がよくわかるはずです。みんなで水をきれいにする取り組みができるかもしれません。もともと水と絆のまち。

それにしても、子どもたちが「いざ川へはいるとき」、裸足ではなく、短い長靴や運動靴を履いて水に入るのも気にしないで行く姿には驚きました。汚れと、危険が潜む川になってしまったこと…私が子どものころは裸足だったのに…と時代の変化をこんなところにも感じました。

★☆★植田内のイベント★☆★

- 1/11 一斉春子どもまつり 2/10 一どんぐりタイム発表会
- 1/19 一小学校1年生卒園式 リサイクルバザー
- 2/15 一月川一斉清掃 3/10 一小学校卒業式

【編集後記】

店報紙14号が完成しました。今回はスポーツの秋、芸術の秋、文化の秋…と盛りだくさんのイベントの中から、植田地区で行われた、主な行事を掲載しました。奥しかったイベントがよみがえってきたでしょうか？文化祭では、様こけしまんのお話に会場いっぱいの人の参加で、入場通りあたかくてとても美味しい演説会になりました。お月見会では、初めてチャレンジした竹灯りロード。これには、かなりの準備があったようです。イベントに参加するたびに驚くこと…。この大変な準備は、イベントに参加した方の驚きの顔、楽しそうな顔、嬉しそうな顔を思い浮かべると、しんどさも、報酬されるようです。素敵な竹灯りロードでしたね。どのイベントについても、企画段取りをしてくださるスタッフの皆さんの努力には、頭の下がる思いです。役員の負担を少しでも軽くできるように、少しでも多くの人たちで揃わっていきたいものです。

また、今回から、第4回に「うえたの人」シリーズがスタートしました。このコーナーでは、「うえたにはこんな人がいるよ」と、ご紹介していただける方を、大募集しています。皆さんからの情報を待ちしております。

手芸にしても、大正琴も、ローマ字の習得も…・鉛筆によるものです。自分でじっくり勉強すること、与えられたものを消化するだけではなく、自分で習いたいものを自分で勉強するということ…とても努力家で素晴らしいなと思いました。人生いつまでたっても、勉強するという姿勢、見習いたいものです。

「いくつになんでも、することがたくさんあるんです。疲れたら、休んだらいいようなのですが、時間がもったいない感じになります。家族がだいじにしてくれるので、じっとしてては、罰が当たると思うんですよ。」と、ご家族に感謝されておられました。美子さんを大切にしておられるご家族も、家族に感謝する美子さんも、これからも、お元気でいろいろな方に推薦してけてくださいね。



手作りは楽しい
勉強は楽しいです



広告で作った
コマ・布ぞうり



高松市内全域美化音楽を終えて

10月26日（日）に高松市内全域で「第1回高松クリーンデー、たかまつきれいいでー」が開催されました。それに合わせて、我が植田地区でも、地区住民が午前8時より、各自治会毎に道沿いの空き地や幹線道路法面に捨てられた空き缶や漁網に溜まったゴミ等を拾いました。植田地区は、山間地域である為、地区外からの持ち込みごみも所々に見受けられ、大きな空き缶の多発地帯やタイヤ、強説等が多く収集されました。今後毎年「高松クリーンデー、たかまつきれいいでー」を開催し、全国一美しい、きれいな街作りを目指して行くために、我が植田地区も地区住民の更なる意識の改革を図り「高松一きれいで、美しい町」に成るよう地域全体で取り組みたいものです。

コミュニティ

うえた

ようこそ『植田』へ一案内板を設置



また、植田の目に付きやすい五差路の北東側に立っている森尾神社・藤名寺の看板の裏側に設置し、見やすくわかりやすくなっています。設置にあたっては大野の皆さんの御協力により完成しました。ありがとうございました。

皆さん！この案内板を道しるべに、植田の良さを再発見してみませんか。また、地区外の方に植田を案内するときや地図を教えるときなどは、おもてなしの心を持ち、植田のまちの応援活動に協力してください。そうすれば、植田のシンボルのひとつになると期待しています。

第14号・平成20年12月20日発行
植田校区コミュニティ協議会

